全国高校総合体育大会（インターハイ）第6日は2日、山形県天童市のNDソフトスタジアム山形などで13競技が行われた。徳島県勢は6競技に出場し、陸上の女子三段跳び決勝で道中杏花（徳島市立）が4位に入賞した。男子円盤投げの三田穂貴（生光学園）は決勝に進めなかった。レスリング男子120キロ級の田岡和成（池田）は準々決勝で敗退した。弓道団体では男子の徳島市立が決勝トーナメントに進んだ。テニスは男女団体があり、男子の城南は1、2回戦を突破し、16強入りした。第7日は6競技に出場する。このほか、陸上の男子1600メートルリレー決勝で鳴門一中から洛南（京都）に進んだ野口航平が第2走者を務め、同校の2連覇に貢献した。バスケットボール女子は、岐阜女が6連覇を狙った桜花学園（愛知）を61―55で破り、初優勝した。男子は福岡大大濠が3年ぶり4度目の頂点に立った。

全国高校総体 南東北

第6日

道中（徳島市立）4位

女子三段跳び

陸上

（NDソフトスタジアム山形）

◇予選・徳島県関係

【男子】110メートル障害「5組」⑨森西一希（城南）15秒51＝落選▽円盤投げ「2組」⑮三田穂貴（生光学園）42メートル10＝落選

【女子】100メートル障害⑨藤本千愛（鳴門渦潮）15秒21＝落選「3組」⑦竹松瑠美（鳴門渦潮）15秒26＝落選「4組」⑧大地彩央里（徳島市立）14秒89＝落選「6組」⑧合優花子（城ノ内）15秒20＝落選▽三段跳び予選「2組」⑤道中杏花（徳島市立）12メートル15＝決勝進出

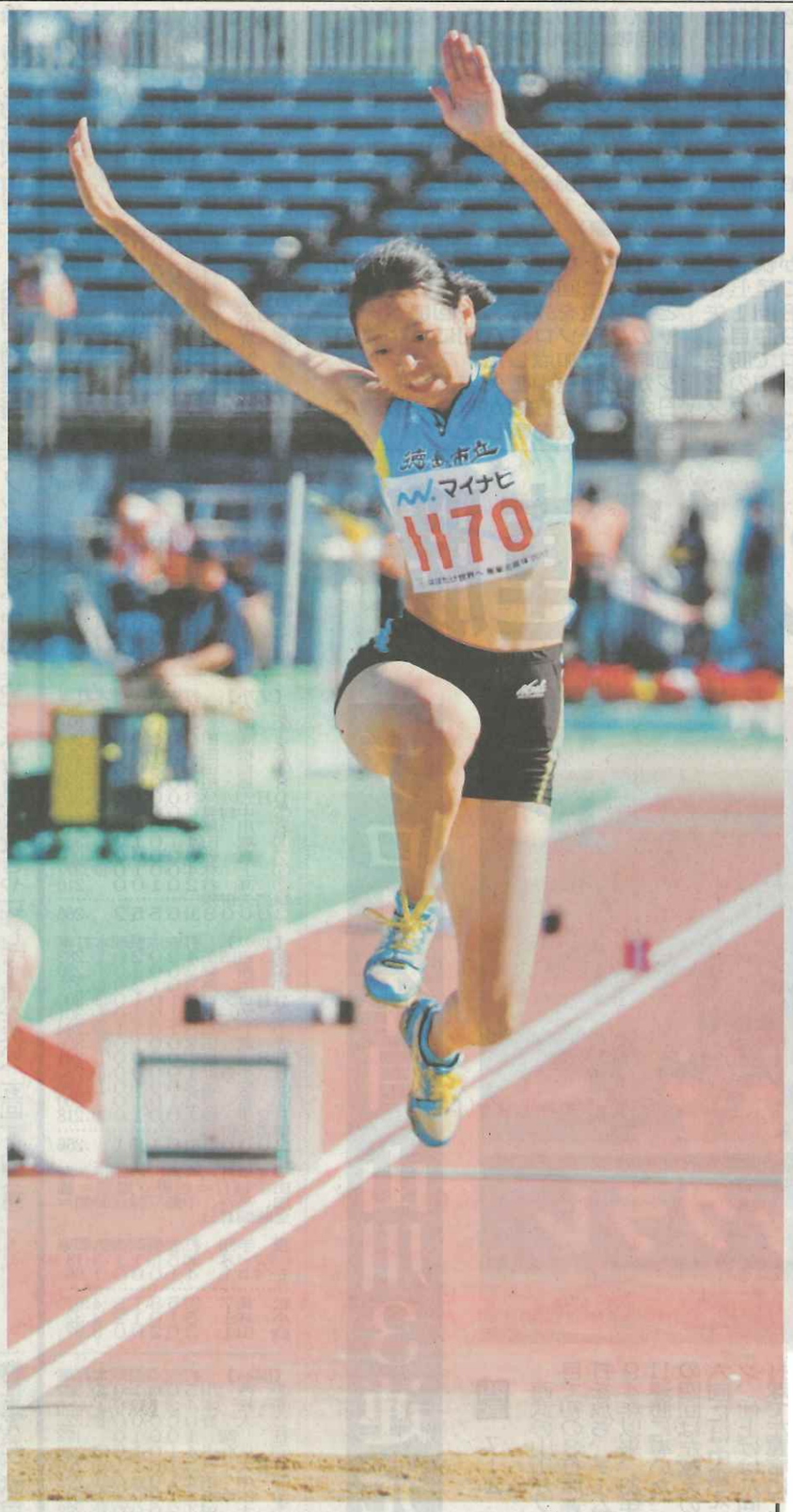
◇決勝

【男子】110メートル障害①勝田楽（島根・開星）14秒19▽3000メートル障害①フィレモン・キプラガット（岡山・倉敷）8分21秒30＝大会新▽1600メートルリレー①洛南（京都＝石井、野口、梅谷、井本）3分9秒52▽走り高跳び①板東琉太（香川・高松工芸）2メートル09▽円盤投げ①中村美史（兵庫・市尼崎）49メートル64▽トラック競技学校対抗得点①洛南（京都）35▽フィールド競技学校対抗得点①市尼崎（兵庫）21▽学校対抗得点①洛南（京都）35

洛南は3年連続7度目の優勝。

【女子】3000メートル①ヘレン・エカラレ（宮城・仙台育英）8分54秒36▽100メートル障害①吉田唯莉（石川・小松商）13秒68▽1600メートルリレー①東大阪大敬愛（大阪）3分39秒82▽三段跳び①橋本梨沙（千葉・幕張総合）12メートル73＝追い風参考④道中（徳島・徳島市立）12メートル58＝追い風参考▽トラック競技学校対抗得点①東大阪大敬愛（大阪）33▽フィールド競技学校対抗得点①市尼崎（兵庫）19▽学校対抗得点①東大阪大敬愛（大阪）33

東大阪大敬愛は4年連続7度目の優勝。



女子三段跳び決勝　12メートル58で4位に入った徳島市立の道中＝山形県天童市のNDソフトスタジアム山形

今年一番の大ジャンプ

跳躍を重ねるたびに記録をぐんぐん伸ばした。女子三段跳びで4位入賞した道中（徳島市立）の記録は、3位の選手と同じ12メートル58。2番目の記録によって順位が一つ下がり、惜しくもメダルを逃したが「今年の跳躍の中では一番良かった。ここまで上に入れるとは思っていなかったし、記録も出て驚いている」と振り返った。

予選1回目で自己記録を2センチ上回る12メートル15を出した。決勝への通過標準記録を一発でクリア。「ステップがぴったり決まっている。調子はいい」。2位に終わった四国選手権以降、取り組んできた2歩目の改善を好結果につなげた。

波に乗った決勝でも12メートル台を連発。短距離走で鍛えた助走の爆発力をスムーズに跳躍つなげ、1回目は12メートル05で4位につけた。

2回目は自己記録をさらに更新する12メートル40。「周りを見ないことで集中力を高めた」という3回目は追い風参考ながら、県高校記録を上回る12メートル58の大ジャンプを披露し、メダル争いを続けた。

8人に絞り込まれた4回目以降、記録は更新できなかったが、「決勝で最後まで跳べたことがうれしい」。大舞台で力を存分に発揮できた達成感でいっぱいだった。

（佐々木基善、写真も）